

## 8 農地整備課

### (1) 基本方針

#### ア 総合5か年計画等への位置付け

総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」佐久地域計画のめざす姿『「高原野菜・カラマツが輝く豊かな農山村」と「教育・医療が充実した活力ある街」が織りなす「住んでよし・訪れてよし」の佐久地域』の実現に向けて重点政策の取組を推進します。

重点政策	取組内容
「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」確かな生活の基盤づくり	自然災害から暮らしを守るため、農業水利施設等の基幹インフラ機能を維持・向上させる。
「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり	全国屈指の葉野菜類産地など、地域を支える農業の持続的な発展に向けて、必要となる基盤整備を推進する。

また、農政部「第4期長野県食と農業農村振興計画」の基本目標及び、実行計画である「長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画）」のめざす姿の実現に向け施策を展開します。

第4期長野県食と農業農村振興計画	長野県農業農村整備計画 (第9次土地改良長期計画)
【基本目標】 人と地域が育む 未来につづく信州の農業・農村と食	【めざす姿】 信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村
I 皆が憧れ、稼げる信州の農業	1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進 (1) スマート農業技術の導入や担い手への集積・集約化を可能にする、生産効率の高い農地の整備 (2) 産地が目指す高収益作物の栽培を可能にする、収益性の高い農地の整備 (3) 用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新
II しあわせで豊かな暮らしを実現する信州の農村	2 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり (1) 災害から暮らしを守る農村の強靱化 (2) 住みやすい農村を支える農村基盤整備 3 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

#### イ 農業農村整備事業の役割

連綿と引き継がれてきた信州の「水」「土」「里」が織りなす農業・農村に、スマート農業や国土強靱化という新たな時代の要素を織り込み、農業用水の安定供給と良好な営農条件を備えた農地を確保し、農業の生産性を向上させる役割を果たすことで、「未来を担う若者たちが希望を持てる職業としての農業」を実現し、美しく活力ある農村を未来につなげていきます。

#### ウ 農業農村整備計画の整備方向

北佐久の水田地帯を潤す農業水利施設は、昭和30年代から40年代に建設されたものが多く、老朽化が顕著となっているため、施設の更新整備を実施します。

南佐久の畑地帯では農業機械の大型化に対応した農道や突発的な大雨に対処する排水路の整備、栽培作物に適した畑地かんがい施設の整備を実施します。

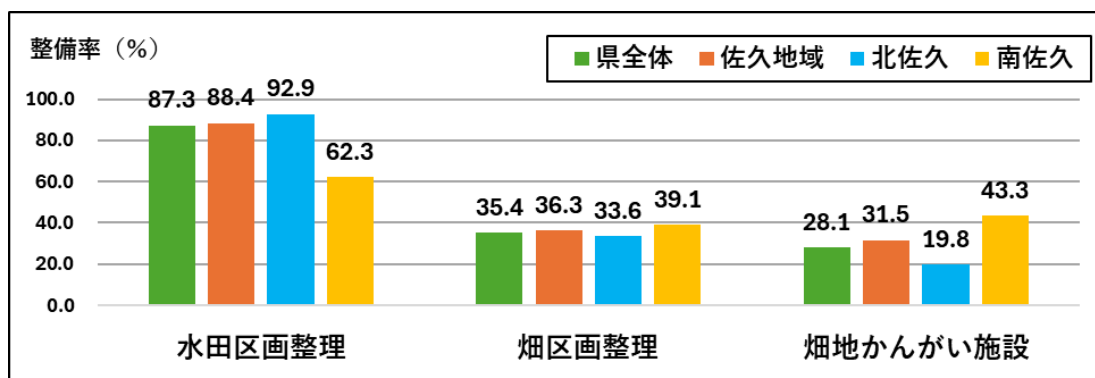
## (2) 農業農村整備の概況

### ア 水田及び畑地の整備状況

良質米の生産地が広がる北佐久（小諸市、佐久市、軽井沢町、御代田町、立科町）は、水田の区画整理の整備率が県全体を上回っています。

高品質な高原野菜を生産する南佐久（小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村）は、畑地の区画整理、畑地かんがい施設の整備率が県全体を上回っています。

基盤整備状況（令和6年度末現在）



### イ 農業水利施設の整備状況

用排水路は、2,308km（受益面積 5ha 以上）あり、このうち受益面積 100ha 以上の基幹的な用排水路は 232km です。

また、農業用ため池は女神湖をはじめ 431 箇所と県内で一番多く、このうち防災重点農業用ため池（決壊した場合に浸水区域の家屋や公共施設等に被害を与えるおそれがある農業用ため池）は 121 箇所存在します。

区 分	用排水路延長 (km)		農業用ため池 (箇所)	防災重点農業用ため池 (箇所)
		基幹的な用排水路延長 (km)		
佐 久	2,308	232	430	121
県 全 体	14,874	1,291	1,858	663

※令和7年度末現在（農政部農地整備課調べ）



別荘地帯を静かに流れる  
千ヶ滝湯川用水「温水路」



白樺高原に位置し、立科、八重原、御牧ヶ原台地の 1537ha の農地を潤す農業用ため池の赤沼ため池（別名「女神湖」）

## ウ 農道の整備状況

農地から集出荷場までの農産物輸送の効率化と地域交通網の利便性向上を図るため、基幹的な農道を整備しています。

農道種別	路線数	延長(km)	関係市町村
広域農道	3	43.2	小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、軽井沢町、御代田町
農免農道	4	13.7	佐久市、佐久穂町、川上村
県単農道	4	9.1	佐久市、川上村、御代田町
計	10	66.0	



地域交通網の利便性が向上した  
佐久南部広域農道



農作物輸送の効率化を図るため  
県単農道で整備した川上大橋

## エ 農業集落排水施設の整備状況

農村地域の生活環境の改善を図るため、農業集落排水施設を整備し、全ての処理区で供用開始しています。現在は、処理施設の長寿命化対策を実施しています。

区分	行政人口 (R7. 3. 31) (人)	計画区域			接続済		
		処理区数	整備人口 (人)	割合 (%)	処理区数	水洗化人口 (人)	接続率 (%)
佐 久	206,522	24	15,957	7.7	24	14,485	90.8
県全体	2,002,777	207	134,472	6.7	207	124,915	92.9

※令和6年度末現在（環境部水道・生活排水課調べ）

### (3) 事業実施状況

「長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画）」における、3つの基本方向を柱として事業を実施します。

- 次代を担う産地を支える基盤整備の推進
- 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり
- 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり



冷涼な気候を生かした全国屈指の高原  
野菜産地を支えるため、畑地帯の基盤  
整備を推進

## ア 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

担い手への農地集積・集約化により農地の生産効率を高めるため、農地の区画拡大や水田の畑地化の整備を進めます。

また、農業用水の安定供給をはかるため、農業水利施設の適切な保全管理と耐震・長寿命化を進めます。

### (ア) 事業実施状況

(単位：千円)

事業名		令和7年度実績		令和8年度計画		対前年度比
		地区数	事業費	地区数	事業費	
県営	県営かんがい排水事業	2	273,555	2	218,971	80%
	県営畑地帯総合土地改良事業	3	561,819	3	381,201	68%
	経営体育成基盤整備事業	2	233,583	2	332,853	142%
	農業水路等長寿命化・防災減災事業	—	—	1	30,000	皆増
	小計	7	1,068,957	8	963,025	90%
団体営	農業基盤整備促進事業	1	40,779	1	53,140	130%
	水利施設等整備事業	2	125,000	1	65,600	52%
	農地耕作条件改善事業	1	8,498	2	137,080	1613%
	土地改良施設PCB廃棄物処理促進対策事業	1	16,522	—	—	皆減
	農業水路等長寿命化・防災減災事業	8	231,720	10	449,960	194%
	県単農業農村基盤整備事業	3	19,000	7	31,000	163%
	小計	16	441,519	21	786,780	178%
計	23	1,510,476	29	1,699,805	112%	

※事業費は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越は含まない。



幅員の狭い農道を大型農耕車両がすれ違いできるように拡幅整備  
(県営畑地帯総合土地改良事業南牧野辺山地区)



農地の区画拡大等により営農の省力化や収益の高い野菜産地の整備を進める  
(経営体育成基盤整備事業馬取山田地区)

## イ 安全安心で持続的な農村の基盤づくり

激甚化・頻発化する自然災害から農村の暮らしを守るため、農業水利施設や農道の地震・豪雨対策など、防災・減災対策を進めます。

また、農業者の管理労力の軽減や安全の確保、維持管理コストの低減を図るため、農業水利施設の自動化・遠隔化や、農業用水を活用した小水力発電の導入を進めます。

### (ア) 事業実施状況

(単位：千円)

事業名		令和7年度実績		令和8年度計画		対前年度比
		地区数	事業費	地区数	事業費	
県営	県営農村地域防災減災事業	9	632,261	10	493,833	78%
	県単緊急農地防災事業	1	3,700	2	16,631	449%
	小計	10	635,961	12	510,464	80%
団体営	団体営農村地域防災減災事業	5	47,223	6	107,000	227%
	農業水路等長寿命化・防災減災事業	1	25,160	2	42,840	170%
	耕地災害復旧事業	24	109,355	1	3,399	3%
	農業集落排水事業	2	171,400	1	105,000	61%
	国土調査事業（地籍調査）	3	44,508	4	67,276	153%
	小計	35	397,646	14	326,515	82%
計		45	1,033,607	26	836,979	81%

※事業費は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越は含まない。

※国土調査事業（地籍調査）の地区数は、実施市町村数を計上。

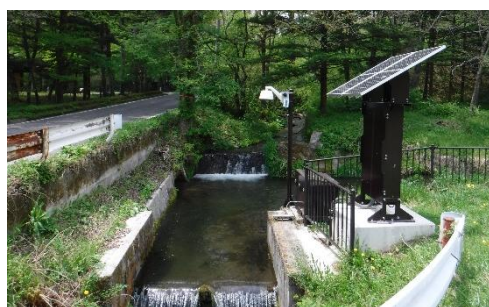


既設隧道



新設トンネル

未整備の素掘り隧道の上部には住宅、鉄道等があり、崩落から災害を未然に防止するため、新たな用水トンネルを建設  
(県営農村地域防災減災事業大久保地区)



管理労力の軽減や安全の確保を図るため、水門の自動化・遠隔化を実施  
(県営農村地域防災減災事業御影用水地区)



農産物の運搬、地域の緊急輸送路を確保するため、農道橋の修繕と耐震補強を実施  
(県営農村地域防災減災事業川上地区)

(イ) 農業用水を活用した小水力発電の推進

農業用水を活用した小水力発電の導入を支援し、農業水利施設の維持管理に伴う農業者の負担軽減を図ります。

施設名称	管理者	運転開始	最大出力 (kW)	利用水路名	水路管理者
平根発電所 (1号機) 平根発電所 (2号機)	佐久市	S30 H28	550 10	平尾用水	佐久市土地改良区
星野温泉第3発電所	民間事業者	S56	75	千ヶ滝湯川用水	千ヶ滝湯川用水土地改良区
陣内森林公園発電所	民間事業者	H30	181	立科幹線水路	立科土地改良区
甘酒水力発電所	民間事業者	H31	533	立科幹線水路	立科土地改良区
大石川第1発電所	民間事業者	R5	199	八千穂農水	佐久穂町
五郎兵衛用水発電所	民間事業者	R5	105	浅科幹線水路	五郎兵衛用水土地改良区
牛落水力発電所	民間事業者	R5	199	立科幹線水路	立科土地改良区
合計	7箇所		1,852		



陣内森林公園発電所



五郎兵衛用水発電所

ウ 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

農村地域の資源や美しい環境を次代へ引き継ぐとともに、農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者や地域住民等が行う保安全管理活動の取組を支援します。

また、市町村や施設管理者と連携し、歴史的な<sup>そすい</sup>疏水（農業用水路）、ため池、棚田等の農業資産の魅力を発信する取組を支援します。

(ア) 事業実施状況

(単位：千円)

事業名		令和7年度実績		令和8年度計画		対前年度比
		組織数	事業費	組織数	事業費	
団体営	多面的機能支払交付金	62	184,927	62	179,999	97%
計		62	184,927	62	179,999	97%

※事業費は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越は含まない。



農地維持活動（水路の泥上げ）



資源向上活動（農道の部分補修）

(イ) 主な<sup>そすい</sup>疏水（農業用水路）、ため池、棚田

名称	所在地	施設管理者	特 徴
女堰	小諸市	小諸市高峯土地改良区	1336年頃(室町時代)開削 2020年「小諸市ふるさと遺産」認定
千ヶ滝湯川用水	軽井沢町	千ヶ滝湯川用水土地改良区	1652年(江戸時代), 柏木小右衛門により開削 温水路(長 934m, 幅 20m, 水深 20cm)は冷水温を1.5℃上昇させる。周辺は緑に囲まれた美しい水辺環境を形成し, 観光客が訪れる。
四ヶ用水	佐久市	佐久市土地改良区	1623年頃(江戸時代), 市川五郎兵衛により開削 市川五郎兵衛が佐久の地で最初に開削した用水路
常木用水	佐久市	佐久市土地改良区	1623年頃(江戸時代), 市川五郎兵衛により開削 取水口から受益農地まで標高差 10m にすぎず, 「わくり」と呼ばれる現在のサイフォン方式等進んだ技術が用いられた
五郎兵衛用水	佐久市	五郎兵衛用水土地改良区	1630年頃(江戸時代), 市川五郎兵衛により開削 2006年「疏水百選」認定 2018年「世界かんがい施設遺産」登録
佐久平用水	佐久市	佐久平土地改良区	県歌「信濃の国」に詠まれる佐久平の肥沃な水田地帯を潤す用水路 「佐久鯉」の発祥地として養鯉にも活用される
塩沢堰	立科町	立科土地改良区	1646年(江戸時代), 六川長三郎勝家により開削 総延長 55km の長大な水路は 6 年余りで完成 2006年「疏水百選」認定
赤沼ため池 (女神湖)	立科町	北佐久郡川西土地改良区連合	1966年(昭和 41 年)造成 白樺高原の中心的な湖として, 湖畔に遊歩道が整備され多くの観光客が訪れる
大岳幹線	佐久穂町	佐久穂町	1953年(昭和 28 年)に建設された「鷲ノ口(うそのくち)円形分水」は藤蔓(ふじつる)分水と呼ばれる古くからの水利慣行から生まれた分水方式
宇坪入の棚田	小諸市		1999年「日本の棚田百選」認定 標高 900m~950m の高原に細長く続く石積みの棚田



400年の歴史を刻む四ヶ用水



塩沢堰の源泉「弁天神」



地元小学生の五郎兵衛用水学習会



宇坪入りの棚田